

アルプス中央信用金庫の環境への取組みについて

アルプス中央信用金庫は、事業活動を通じて、地球環境の改善・資源の保全ならびに環境汚染防止に寄与するため、役職員一人一人が地域環境の継続的な向上を図ります。

【森林(もり)の里親整備事業への参加】

長野県と駒ヶ根市及び当金庫の三者で協定を結ぶ‘森林(もり)の里山整備事業’の参加を行い、地元にある山を守り育てながら活かしていく機運の醸成に力を注いでおります。

今年は、雨の降りしきる中、職員やその家族が参加し、森林から集めた素材を利用しクラフト作り（森のコラージュ）に取り組み、新たな自然の温もりを感じることが出来ました。森林をより身近に感じ、整備事業を通じて豊かな自然風景を後世に残す活動を今後も続けてまいります。



【天竜川水系環境ピクニックへの参加】

地域の環境貢献活動の一環として、諏訪湖を源流とする天竜川の河川敷の美化活動に当金庫の役職員が地元の企業社員と共に、紙くずや空き缶、空き瓶などの除去作業を毎年行っており、今年で 23 回連続して参加しております。



【天竜川に架かる橋の清掃実施】

天竜川水系環境ピクニックへの参加と共に、年 1 回天竜川に架かる橋の清掃を、早朝より役職員が行っております。

橋を渡る市民の方から、‘きれいになって気持ちが良い’ と声を掛けられた時には、ほうきを持つ手にも力が入ります。



【クールビズ・ウォームビズの実施】

毎年全店において空調温度を夏季は28℃、冬季は22℃とし、役職員は服装での対応を行いエアコンの利用を控え、環境に配慮しております。

【環境に配慮したカーボンオフセット通帳の採用】

当金庫が使用する通帳の製造過程で排出されるCO₂（カーボン）に対して、その量に見合う削減活動を行い、実質の排出量を相殺する仕組みを取り入れた通帳を採用しております。